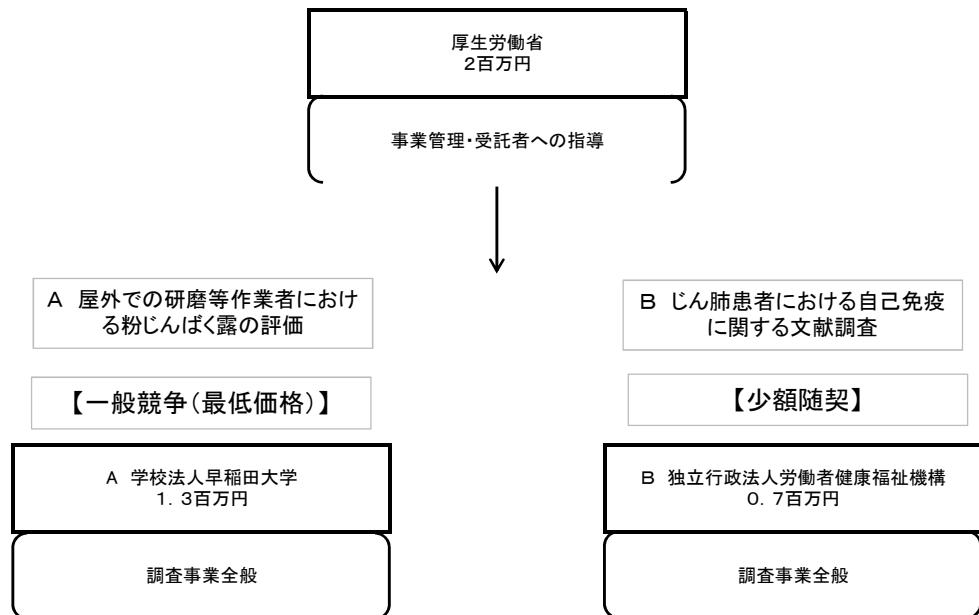


平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)							
事業名	じん肺症例に関する調査		担当部局	労働基準局安全衛生部			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度開始・平成24年度終了		担当課室	労働衛生課			
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		政策・施策名	III-2-1 労働者の安全と健康が確保され、労働者が安心して働くことができる職場づくりを推進すること。			
根拠法令(具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号		関係する計画、通知等	第12次労働災害防止計画			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	じん肺健康診断やじん肺管理区分決定における診断精度の更なる向上を目的として、医学知見の収集のための調査を行うもの。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	平成22年に開催した「じん肺法におけるじん肺健康診断等に関する検討会」の報告において、今後知見の収集が必要とされた事項について、調査研究を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度		
	当初予算	2	2				
	補正予算						
	繰越し等						
	計	2	2				
	執行額	2	2				
執行率(%)	100	100					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)
	調査研究を目標とした事業であるため、定量的成果目標はなじまない。(平成24年度限り)		成果実績	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	調査研究を目標とした事業であるため、定量的活動指標はなじまない。(平成24年度限り)		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	
単位当たりコスト	2,019千円		算出根拠	調査研究を行う事業であり、事業実施結果一式が成果物となるため、委託費の額が単位当たりコストとなる。			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
				平成24年度限りの事業			
	計	0	0				

事業所管部局による点検										
	項目	評価	評価に関する説明							
国 必 要 投 入 の 性 能	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	じん肺に関する知見の蓄積は、今後も国民の要望が高く、国費により国が実施すべき事業である。							
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	じん肺法は国が直接所管しているものであるから、国が実施すべきである。							
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	じん肺に関する知見の蓄積は、今後も優先度の高い事業である。							
事業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	一部につき、一つの研究テーマの額が少額であることから、随意契約で実施した。							
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	職業病疾病であるじん肺の予防的健康管理について調査研究を行う事業であり、事業者から徴収した労災保険料から経費を支出していることから、受益者との負担関係は妥当である。							
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○	研究のための経費であり単価当たりコストは妥当である。							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—	—							
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	研究のための経費以外に支出されていない。							
事業 の 有 効 性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—	—							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果のあるいは低成本で実施できているか。	—	—							
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—	—							
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	今後の政策決定の際の判断材料の一つとする。							
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—								
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名							
点検結果	じん肺診断の精度向上及び粉じん障害防止対策の適正化について、今後の政策決定の際の判断材料となる成果物が得られたため、事業の目的は達成できたと考えられることから、平成24年度をもって廃止した。									
外部有識者の所見										
点検対象外										
行政事業レビュー推進チームの所見										
	—		—							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況										
廃止			—							
備考										
関連する過去のレビューシートの事業番号										
△	平成22年	—	平成23年	0088	平成24年					
					0930					

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

じん肺症例に関する調査事業



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

A.学校法人早稲田大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
資材調達費	資材代	0.5			
旅費	講師旅費、スタッフ旅費	0.1			
消耗品	スタッフ人件費	0.4			
管理所経費		0.2			
消費税		0.1			
計		1.3	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学校法人早稲田大学	屋外での研磨等作業者における粉じんばく露の評価	1.3	2	62%

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)労働者健康福祉機構	じん肺患者における自己免疫に関する文献調査	0.7	隨意契約	—